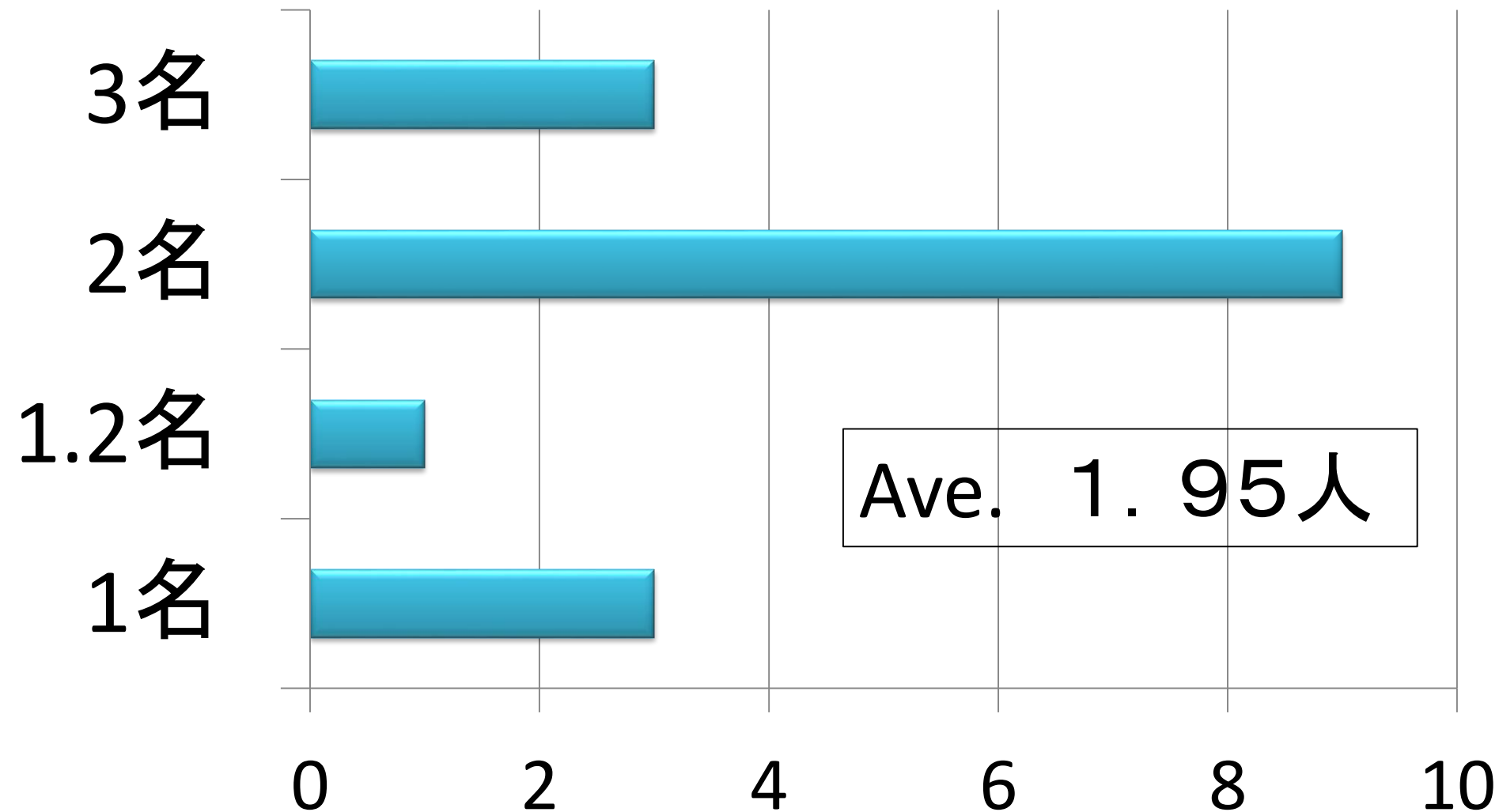


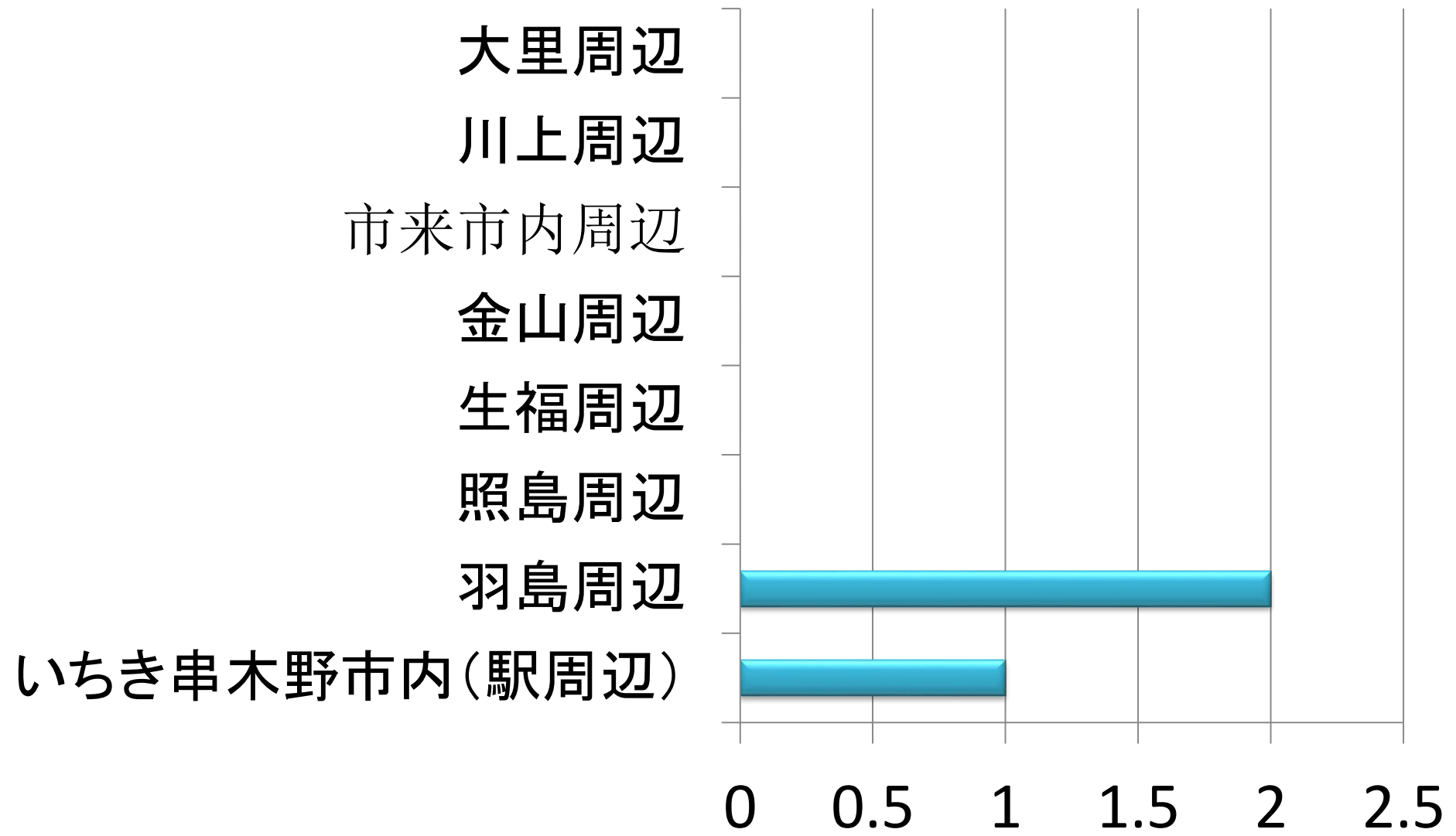
在宅医療推進事業アンケート結果 (平成25年 9月)

調剤薬局

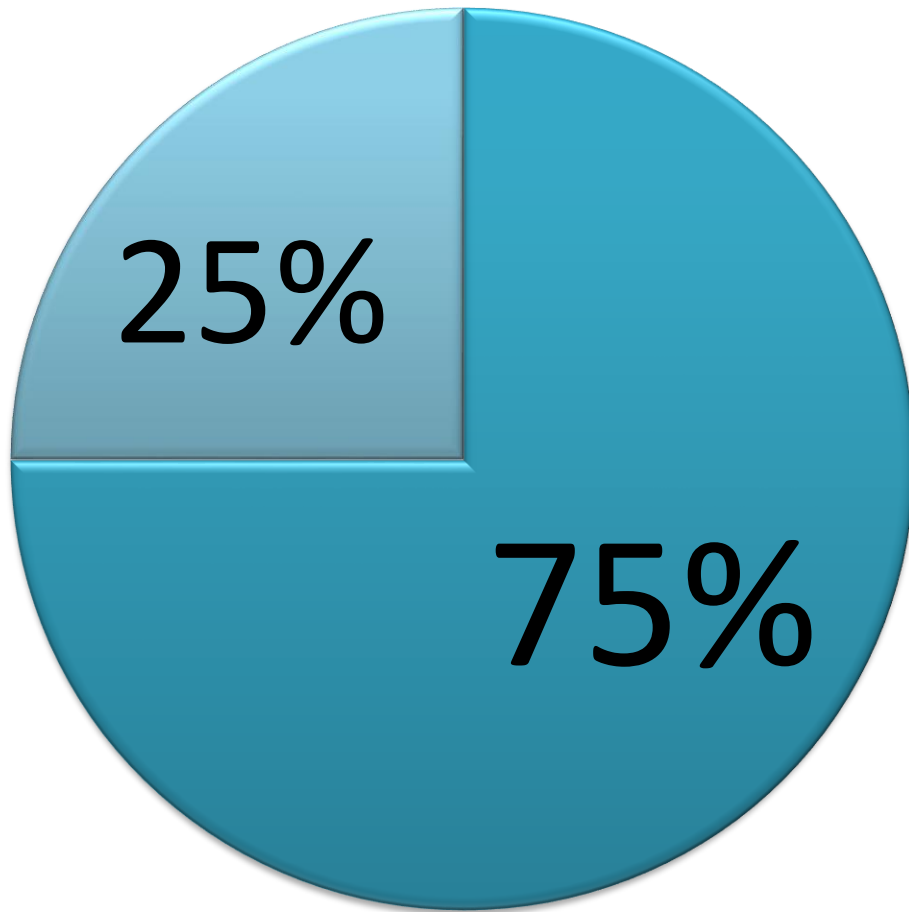
調剤薬局の薬剤師数について



平成25年 8月(1ヶ月)の 在宅訪問指導実施数

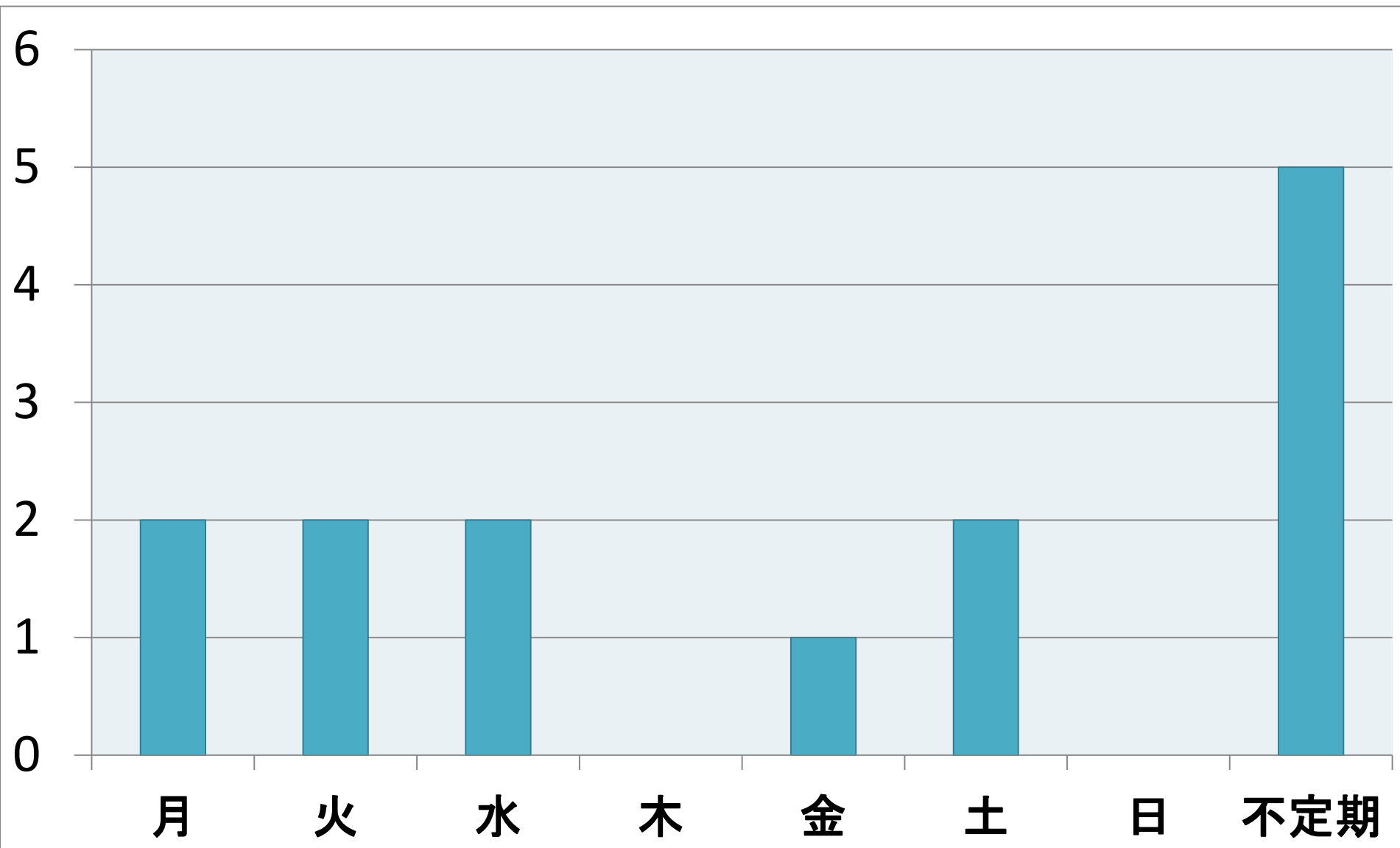


在宅患者訪問薬剤指導の届出について

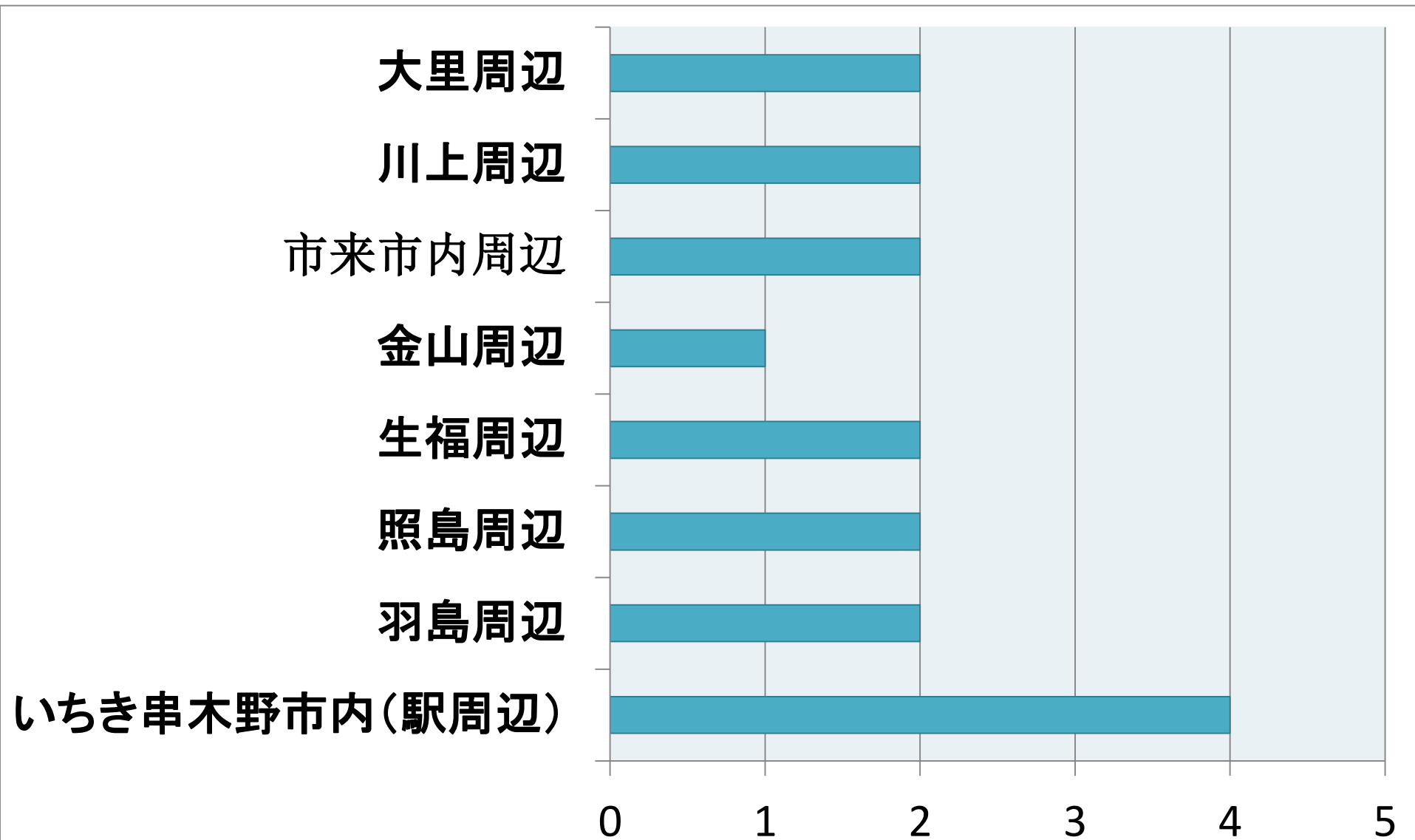


- 届け出を行っている
- 届出をを行っていない

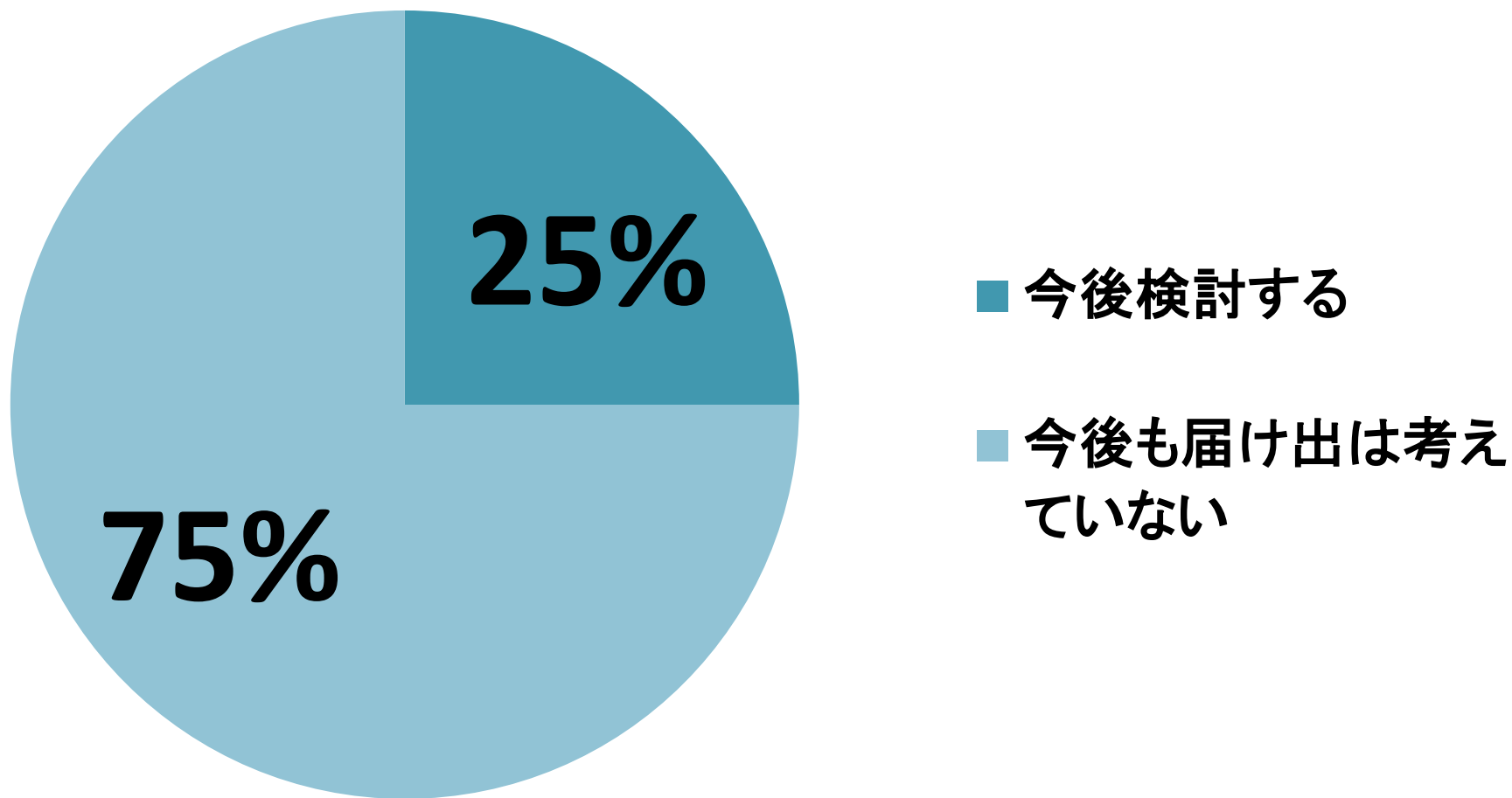
訪問実施可能曜日



訪問実施地域



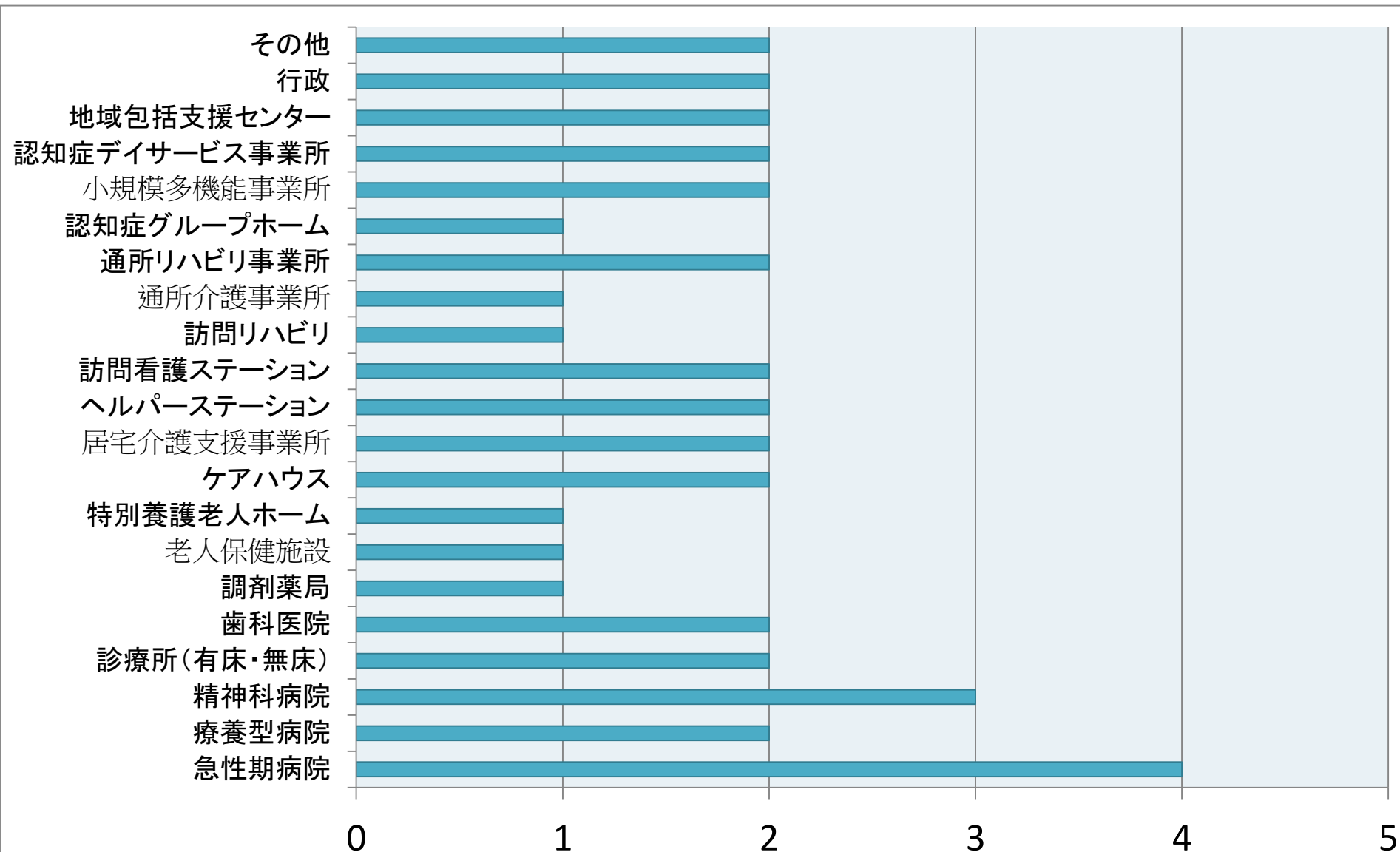
今後の届出について N= 4



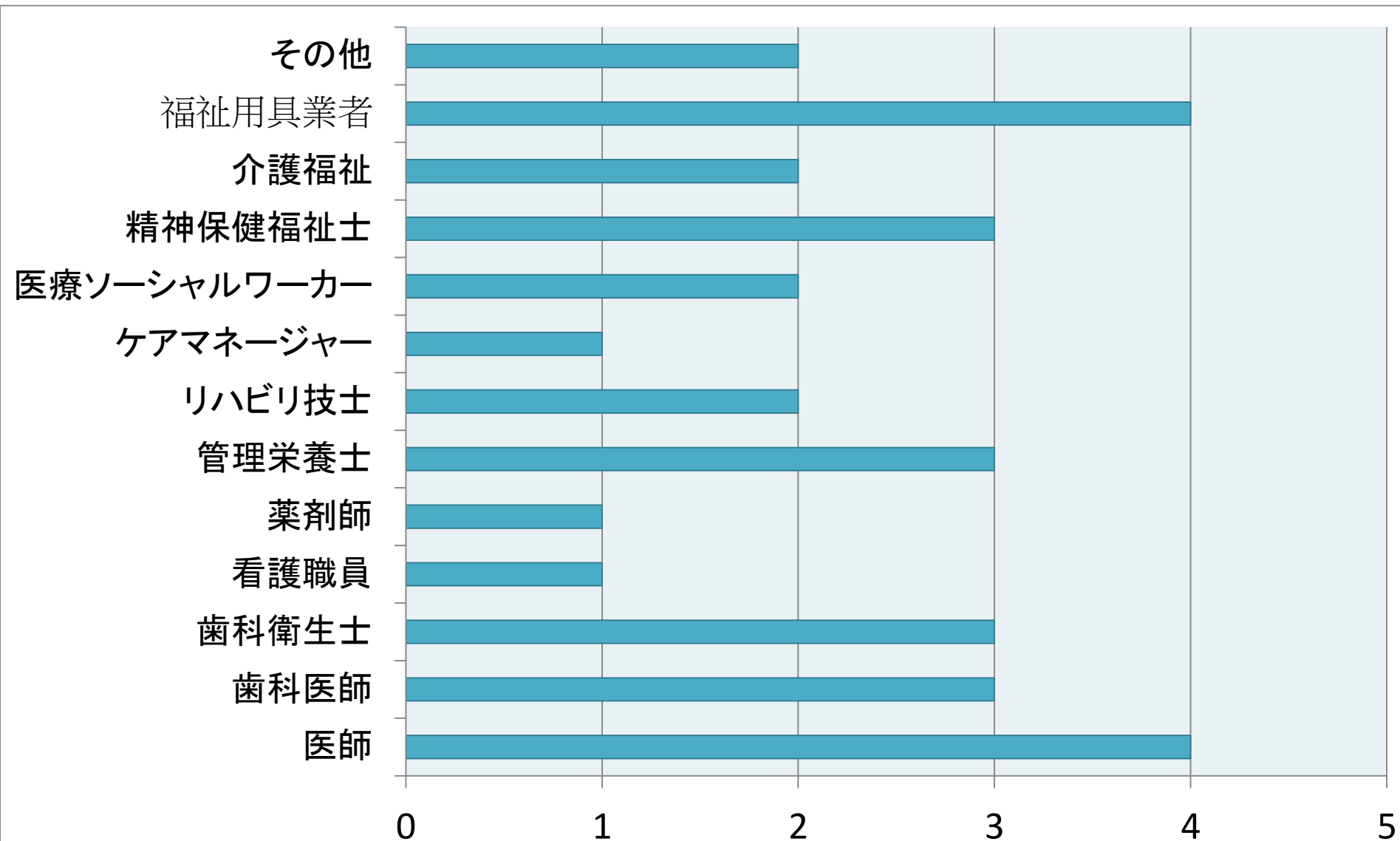
在宅患者訪問薬剤管理指導についての意見

- ①医療保険か介護保険のどちらの対象か分からない事がある。
- ②現在は行ってはいないが、実施は可能である。
- ③薬剤師一人では困難である
- ④在宅訪問を実施したことがないので特にありません。医師の指示がなければできないので、市の中でどれだけの医療機関が取り組んでいるのか、知りたいです。
- ⑤往診を行っている病院が多く、患者宅に薬を届けることはあっても、在宅訪問指導までは行えていないのが現状
- ⑥一人薬剤師での勤務のため、なかなか訪問まで手が回らず、依頼があり、引き受けても訪問する時間が遅くなり、患者宅、他の連携先に迷惑をかけるのではという思いが強く、積極的に動けないのが現状である。
- ⑦高齢の患者様が確かに多いので制度について説明すれば、望まれる方はかなりおられると思われるが、時間的な余裕を見いだせない状況です。在宅患者訪問先住の薬剤師を整えるにも無理がある。
- ⑧無菌調剤(クリーンベンチ)が必要な時に設備が有料であっても、予約制でかりることができればと思ったことがありました。

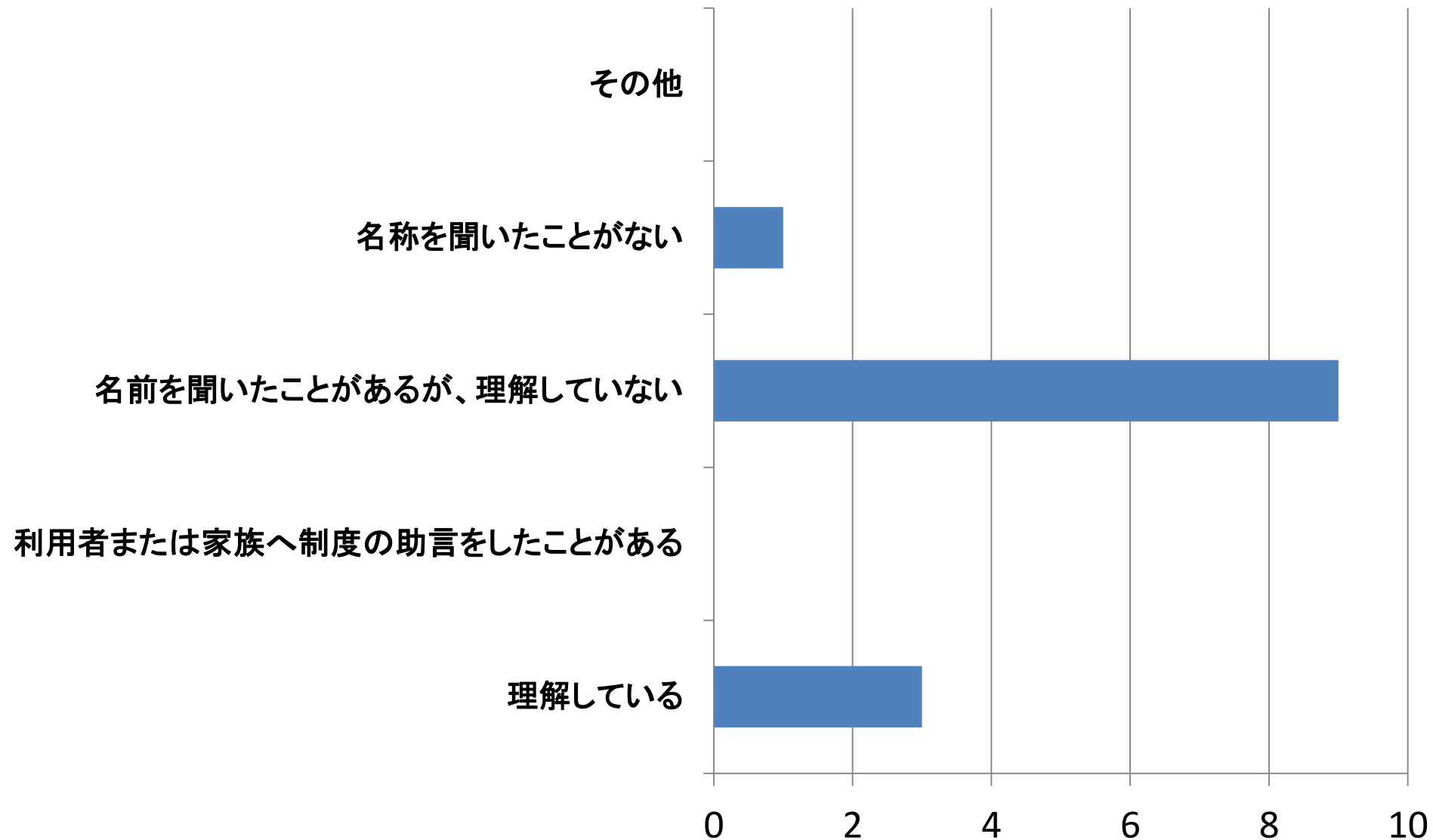
連携が困難であると感じる施設・病院



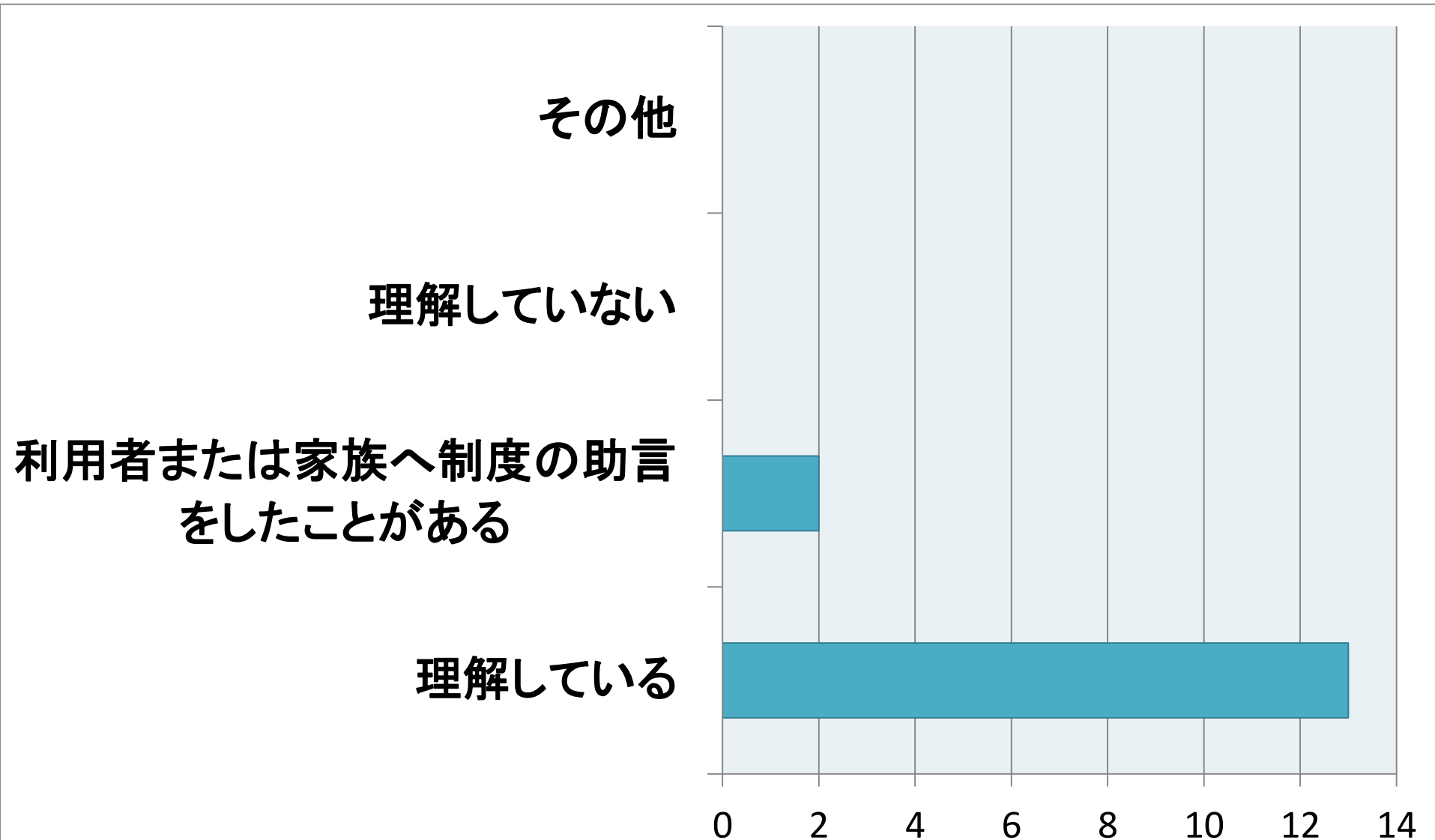
連携が取りにくい職種



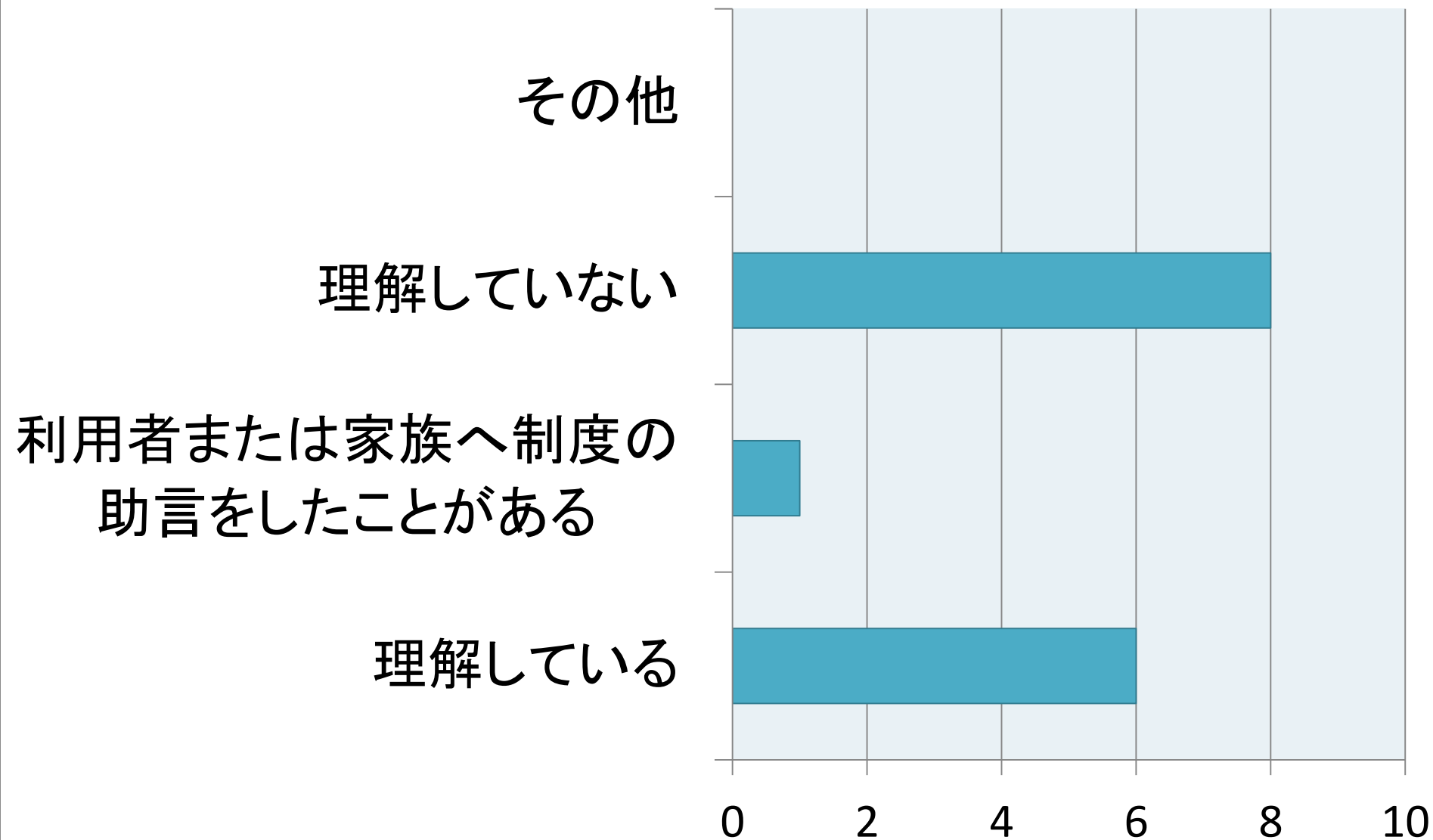
在宅療養支援診療所について



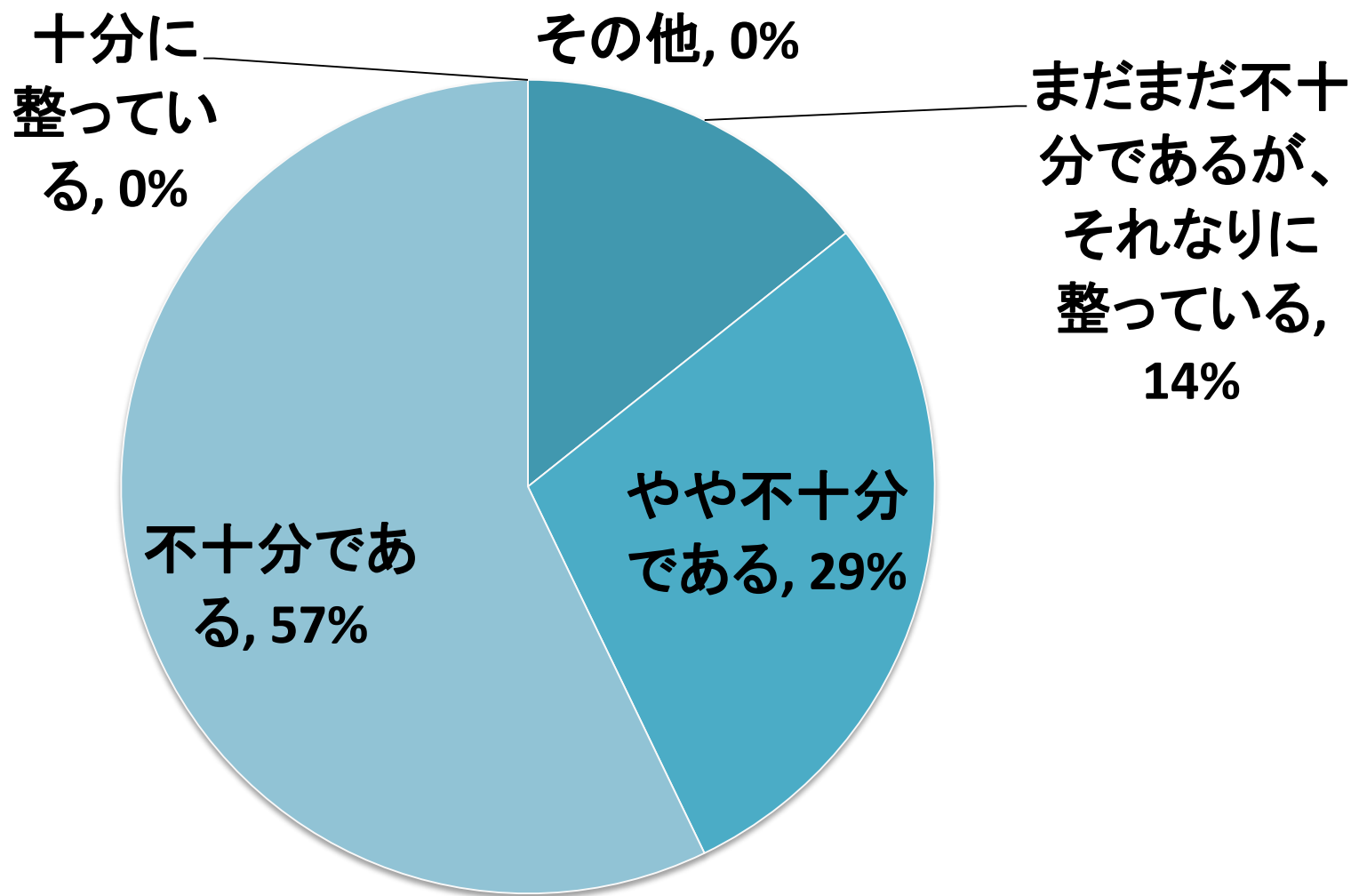
在宅患者訪問薬剤指導について



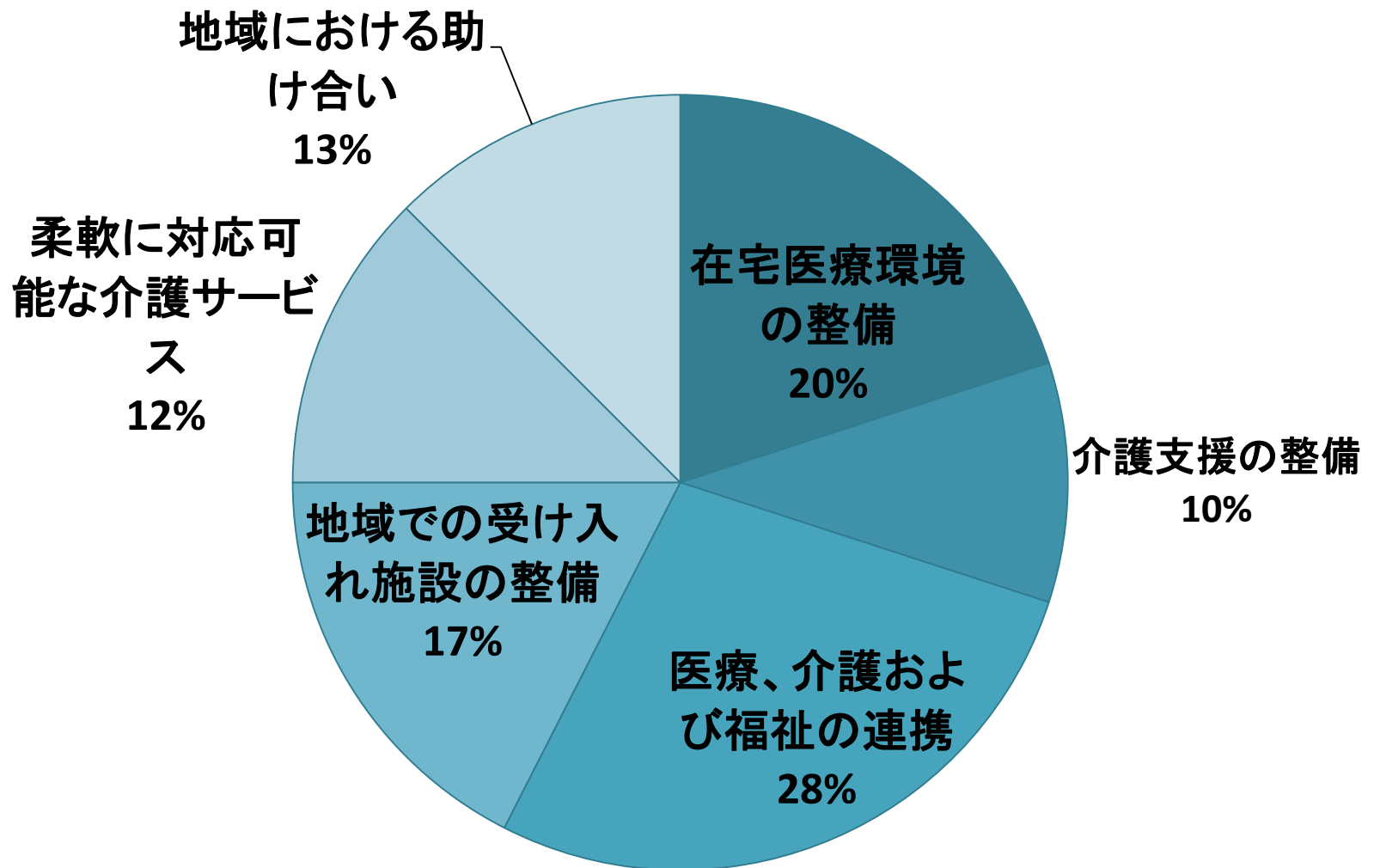
在宅患者訪問栄養指導について



当地域における在宅医療資源の充足状況について



在宅医療または施設での療養生活選択のために必要な事項について



連携を進める上で地域における連携上の課題と思われることについて

- ①同じ職場でも連携が難しいのに、他の医療機関、施設、事業所などが連携すると
なると、相当壁があり、難しいと思います。間に入ってくれる、行政や公正な立場の
機関があれば取り組み易くなるのではないかと思います。
- ②他の職種との連携の取り方
- ③まずは連携を進めていく上で地域の全関連施設の顔合わせの場所、会などが
定期的にひらかれえばと思います。